

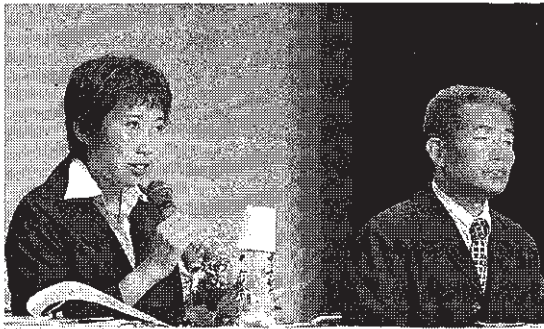
2008年(平成20年)9月11日 木曜日

ロンドン五輪 出場に意欲

天満屋・中村選手ら講演

おかやま適塾

地元で活躍する著名
人らの講演を通し、郷



北京五輪を振り返る中村友梨香選手(左)。右は武富豊監督

土の未来を考える「第
三十四回おかやま適

塾」が十日、岡山市柳町の山陽新聞社さん太ホールであり、八月の北京五輪女子マラソンに出場した天満屋女子陸上部の中村友梨香選手と武富豊監督が現在の心境など語った。

十三位で初の大舞台を駆け抜けた中村選手は「自分の力を全部出し切れず悔しい気持ちがある」とした上で、「四年後にもう一度チャレンジできると一年強くなっていきたい」と二〇一二年口

ロンドン五輪出場に強い意欲を示した。

三大会連続で五輪代表を送り出した武富監督は、規則正しい生活がマラソン選手に不可欠な「心の強さにつながる」と指摘。選手の個性や特長を生かした練習メニューの作成など自らの指導法に触れた。このほか、中村選手と武富監督の出会いなど興味深い話もあり、約八十人が熱心に聴き入った。(岸康彦)